

## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月6日

上場取引所 大

上場会社名 イワブチ株式会社

コード番号 5983 URL <http://www.iwabuchi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 内田 秀吾

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長

(氏名) 池谷 謙一

TEL 047-368-2222(代)

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	7,312	1.4	△22	—	43	△88.6	33	△74.8
24年3月期第3四半期	7,212	△21.6	431	△61.0	378	△66.4	132	△76.1

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 54百万円 (△40.0%) 24年3月期第3四半期 91百万円 (△83.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	3.04	—
24年3月期第3四半期	12.10	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	17,114	13,271	77.5
24年3月期	17,822	13,381	75.1

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 13,271百万円 24年3月期 13,381百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,963	3.4	442	△7.7	452	9.0	250	92.5	22.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	11,000,000 株	24年3月期	11,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	11,508 株	24年3月期	11,381 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	10,988,503 株	24年3月期3Q	10,989,456 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、期後半において政権交代に伴う景気浮揚策への期待から、株価の回復や為替も円安傾向となり明るい兆しがでてきましたが、通期では欧州を中心とした世界経済の減速や長引く円高などの影響により、依然として厳しい状況下で推移しました。

このような状況において電力会社では、原子力発電停止が長期化し電力需給が厳しい中、代替発電の燃料費負担の増加から設備投資抑制傾向にあります。

一方、情報通信関連において、NTTでは音声収入からIP関連を主体とした収入にシフトが進み、収支の改善化が期待されておりますが、スマートフォンやタブレット端末の急速な普及や他事業者が実施している固定と携帯のセット販売などにより、光回線サービス（フレッツ光）の純増数が伸び悩み営業収益が厳しい状況にあります。

このような中、当社グループの生産部門では、国内において業務効率化によるコスト削減や品質管理の向上を図りました。また、海外の中国工場である海陽イワブチの生産特性を活用し、価格競争力のある製品の市場投入、労働集約型製品の生産移管の推進など積極的に取り組みました。また、営業部門では、老朽化したコンクリート柱の建替工事関連製品や省資源に貢献する高耐食めっき製品「MAG+1（マグプラスワン）」の拡販など精力的な営業を展開しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は73億1千2百万円と前年同期に比べ1億円、1.4%の増収となったものの、貸倒引当金の増加などにより、経常利益は4千3百万円と前年同期に比べ3億3千5百万円、88.6%の減益となり、四半期純利益は3千3百万円と前年同期に比べ9千9百万円、74.8%の減益となりました。

セグメントに代わる需要分野別の業績は次のとおりであります。

#### ① 交通信号・標識・学校体育施設関連

交通信号関連は、前年同期のような信号機LED化の特需などがプラス要素がなく例年並に推移しました。しかしながら、標識関連は、全国的に標識工事の発注が少なく低調に推移しました。

また、学校体育施設関連は、防球ネット、照明工事共に全国的に小規模工事が多く低調に推移しました。その結果、売上高は9億8千4百万円と前年同期に比べ3億7千万円、27.4%の減収となりました。

#### ② ブロードバンド・防災無線関連

防災無線関連は、前期計画分の繰り延べ工事などもあり全国的に好調に推移しました。しかしながら、ブロードバンド関連は、全国的に大型物件工事が減少のなか小規模工事が主体となり低調に推移しました。その結果、売上高は8億2千2百万円と前年同期に比べ1億6千3百万円、16.6%の減収となりました。

#### ③ 情報通信・電話関連

情報通信関連は、前期同様に電気通信事業者による光伝送路工事、アンテナ設置工事が全国的に好調に推移しました。また、NTT関連は、老朽化したコンクリート柱の建替工事関連の受注が好調に推移しました。その結果、売上高は19億3千3百万円と前年同期に比べ4億4千1百万円、29.6%の増収となりました。

#### ④ 配電線路関連

配電線路関連は、電力会社における原子力発電停止による代替発電の燃料費負担が影響し、設備投資が抑制されるなど厳しい状況にありますが、不良柱建替工事や電線張替工事などが前倒しで実施となり好調に推移しました。その結果、売上高は23億9千万円と前年同期に比べ1億1千7百万円、5.2%の増収となりました。

#### ⑤ その他

前年同期は、東日本大震災の影響もあり民間・公共工事が低調に推移しました。今期も、民間の設備投資や公共工事が抑制傾向にあるなか、防犯灯のLED化工事などが堅調に推移しました。その結果、売上高は11億8千2百万円と前年同期に比べ7千5百万円、6.8%の増収となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億7百万円減少し、171億1千4百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における資産、負債及び純資産の状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ8億4千1百万円減少し、91億5千6百万円となりました。

これは、主に受取手形及び売掛金が2億7千5百万円増加したことと、現金及び預金が9億5千7百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億3千3百万円増加し、79億5千8百万円となりました。

これは、主に有形固定資産が1億3千6百万円増加したことによるものです。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ5億9千7百万円減少し、38億4千3百万円となりました。

これは、主に賞与引当金が1億1千万円、長期借入金金が2億6千8百万円及び役員退職慰労引当金が1億6千4百万円減少したことによるものです。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億1千万円減少し、132億7千1百万円となりました。

これは、主に利益剰余金が1億3千1百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月21日に公表しました「平成24年3月期決算短信」における業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,854千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,174,751	3,217,680
受取手形及び売掛金	3,356,116	3,631,204
商品及び製品	1,876,476	1,875,789
仕掛品	163,263	163,945
原材料及び貯蔵品	249,078	190,180
その他	367,829	343,692
貸倒引当金	△189,404	△265,647
流動資産合計	9,998,110	9,156,844
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,566,391	2,488,239
土地	2,865,320	3,181,904
その他（純額）	709,308	607,824
有形固定資産合計	6,141,020	6,277,969
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,023,538	1,040,577
その他	747,536	814,003
貸倒引当金	△203,972	△284,829
投資その他の資産合計	1,567,103	1,569,751
固定資産合計	7,824,530	7,958,117
資産合計	17,822,641	17,114,961

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,516,992	1,496,009
短期借入金	358,000	358,000
未払法人税等	138,872	59,226
賞与引当金	229,857	119,548
製品点検補修引当金	50,000	—
その他	264,447	364,316
流動負債合計	2,558,170	2,397,101
固定負債		
長期借入金	765,000	496,500
退職給付引当金	568,052	572,284
役員退職慰労引当金	391,922	227,464
その他	158,429	150,605
固定負債合計	1,883,403	1,446,854
負債合計	4,441,574	3,843,955
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,496,950	1,496,950
資本剰余金	1,210,656	1,210,656
利益剰余金	10,584,470	10,452,989
自己株式	△2,833	△2,886
株主資本合計	13,289,243	13,157,709
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	129,787	127,487
為替換算調整勘定	△37,963	△14,191
その他の包括利益累計額合計	91,823	113,295
純資産合計	13,381,067	13,271,005
負債純資産合計	17,822,641	17,114,961

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	7,212,233	7,312,646
売上原価	5,047,115	5,412,510
売上総利益	2,165,117	1,900,136
販売費及び一般管理費	1,733,716	1,922,140
営業利益又は営業損失(△)	431,400	△22,003
営業外収益		
受取利息	3,505	3,618
受取配当金	27,712	21,465
受取賃貸料	17,267	20,442
持分法による投資利益	—	23,316
その他	8,075	8,954
営業外収益合計	56,561	77,797
営業外費用		
支払利息	14,113	10,179
為替差損	3,887	2,303
貸倒引当金繰入額	84,998	—
持分法による投資損失	5,994	—
その他	190	141
営業外費用合計	109,184	12,624
経常利益	378,778	43,169
特別利益		
固定資産売却益	146	905
製品点検補修引当金戻入額	—	50,000
特別利益合計	146	50,905
特別損失		
固定資産除売却損	11,559	10,635
投資有価証券評価損	34,363	—
会員権評価損	5,700	5,648
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	—	1,500
特別損失合計	51,623	17,784
税金等調整前四半期純利益	327,300	76,290
法人税等	194,356	42,835
少数株主損益調整前四半期純利益	132,944	33,455
少数株主利益	—	—
四半期純利益	132,944	33,455



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	132,944	33,455
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,835	△2,300
為替換算調整勘定	△12,530	23,772
その他の包括利益合計	△41,365	21,472
四半期包括利益	91,578	54,927
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	91,578	54,927
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社グループは架線及び機器用の支持部品である電気架線金物及びその付随製商品の製造、仕入、販売を営んでおり、その事業が単一セグメントであるため、記載を省略しております。